



校長室だより

学校教育目標「自ら学ぶ子供」

八代市立八代小学校
校長 村嶋 博史

R6,5,1 No,6



八代小ホームページ

走って、遊んで、健康の保持・増進

本校には、「ランランタイム」と銘打った、10分間走の取組があります。今年度は、水曜日に1・2・5年生、金曜日に3・4・6年生が、軽快な音楽に合わせて運動場やその周りを自分のペースで走っています。多くの子供が黙々と走っていますので、思わず「がんばれ〜」って声援を送りたくありません。



また、始業前の時間や昼休み時には、多くの子供が運動場で遊んでいます。

今後もランランタイムや外遊びを通じた健康の保持・増進を全職員で支援・推進していきます。

全校集会（校長講話）を行いました

4月24日（水）、今年度最初の全校集会（校長講話）を行いました。子供たちに分かりやすく伝えたいと考え、プレゼンテーションソフトとプロジェクターを活用して目と耳に話しかけました。



講話の前半では、今年度の学校教育目標「自ら学ぶ子供」やその土台づくりとして取り組む「挨拶・聴き方・揃え方・自分の心に線を引く」（八代小ベーシック）について、その取り組み方などを伝えました。

後半では、学校で学ぶ理由（今回は国語編）について話しました。「みなさんは考えるときに何を使っていますか？」（答えは「言葉」）という問いかけから、赤ちゃんが、たくさんの言葉を聞いて、少しずつ覚えていき、使えるようになり、考えることもできるようになるという成長の様子を例に挙げ、「言葉」を知ること、また数多く知ることの大切さを伝えました。

そして、言葉の数を増やすためには、「本をたくさん読むこと」「人とたくさん話すこと」ことが大切であり、その両方ができる国語の授業はとても大切であると結びました。

これから、たくさんの本を読んだり、たくさんの人と話したりしながら、言葉の数を増やし、色々なことを考えられるようになってほしいと思います。（次回は算数編を話す予定です）

挨拶で築く人間関係

ある朝、子供たちの登校の様子を見ていてとても嬉しいことがありました。2年生の子供が、地域の方に「レベル5の挨拶」（自分から、目を見て、大きな声で、笑顔で、立ち止まって）をしているところをたまたま見たんです。地域の方も思わず笑顔で「おはようございます、いってらっしゃい」と声をかけられていました。挨拶で始まるコミュニケーションってこのことだなあと実感しました。



本校の挨拶に係る合い言葉「挨拶で築く人間関係」「学校は練習の場、本番は地域社会」を正に実践しているこの子供にとっても感心しました。このことを担任にすぐ伝えたところ、担任も「しっかりと褒めます」と言って笑顔で教室に向かっていきました。

これからも「元気なあいさつ」が広まるように、まずは私たち大人から「気持ちの良いあいさつ」をしていきます。